



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.32
六甲山で俳句をつくろう
/半田 陽生
2005年11月発行



俳句づくりを楽しむ

第32回テーマ： 六甲山で俳句をつくろう

講演内容

- ①六甲山の自然と親しむ
- ②六甲山記念碑台周辺を
吟行しよう
- ③身近にある俳句

実施日：平成17年11月19日（土）
午後12時30分～3時
場 所：六甲山自然保護センター
レクチャールーム



講師：半田 陽生

プロフィール

1935年神戸生まれ。1984年俳句誌、九年母会入会。主宰：五十嵐播水、現主宰：五十嵐哲也に師事。1994年同人、課題句選者。日本伝統俳句、神戸芸術文化会議の会員。

六甲山の冬日和

午前中は「半田陽生さんの六甲山俳句教室」が開かれました。18名が集まり、九年母会の半田陽生さんにご指導いただきました。俳句についての説明の後、記念碑台周辺の散策路を約1時間吟行しました。外の気温は7度と寒く、携帯カイロをポケットに忍ばせて俳句づくりを楽しみました。

吟行後は、俳句を大短冊に書いて披露しました。昼食タイムでは寒かったせいもあり、用意していたカップラーメンが大好評でした。



皆の俳句を詠みあげる半田さん

半田さんのお仲間が手本を見せてくれた

午後のセミナーは25名が参加。はじめに、俳句で使う言葉の読み方をクイズ形式で紹介いただきました。見たこともない言葉が多く、答えを聞いては「なるほど」と納得の連続でした。

クイズの後には句会をしました。参加者の中には半田さんの俳句仲間もおられ、ベテランの豊かな表現力と感性にほれ惚れました。

和気あいあいの句会

句会は和気あいあいの雰囲気で行いました。皆の俳句を回し読み、各自が気に入った句を選びました。全員真剣な表情で、いつになく静かなセミナーでした。俳句づくりは悪戦苦闘しましたが、初心者も俳人（芭蕉）の真似事？を満喫しました。

六甲山の楽しみ方のモデルがまた増えた

六甲山で五感をめぐらせ、感じたことを俳句にする体験ができました。記念碑台周辺の散策路は距離的にも吟行に向いており、今後も句会を催してほしいという声もあがりました。六甲山でスローライフを楽しむ有力なモデルを見つけました。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 藤井 啓子さん

「六甲山自然保護センター」のドアを開けると中は和気藹々。お弁当やラーメンを食べる方、コーヒーの深い香りもしている。講師の半田さんをはじめ皆さんが笑顔で迎えてくれた。こんな温かい集いがこんな山の上であるなんて、今まで神戸に住みながら知らなかった。机上には木の実や真っ赤な紅葉や未枯れたあじさいが置かれ、参加者も登山靴というのも山の句座ならでは、親切なご指導とてきばきした運びでとても充実した会であった。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

(財)大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)、(財)ひょうご環境創造協会、コープこうべ環境基金、灘区役所「地域力を高める」事業助成